

# 当院の医師が BEST DOCTORS IN JAPAN (ベストドクター) に認定されました



泌尿器科 医長 川島 清隆が、  
ベストドクターズ社から  
"The Best Doctors in Japan 2024-2025" に  
認定されました。



## ■ 氏名

川島 清隆

## ■ 専門

悪性腫瘍 (特に前立腺がん)  
腹腔鏡下小切開手術施設基準医

## ■ PROFIEL

昭和 60 年 山形大学卒業  
平成 5 年 足利赤十字病院  
平成 10 年 国立がんセンター東病院  
平成 14 年 国立がんセンター中央病院  
平成 15 年 栃木県立がんセンター

## ■ 専門医・所属学会

日本泌尿器科学会 (専門医・指導医)  
日本癌治療学会  
日本ミニマム創泌尿器  
内視鏡外科学会 (施設認定医)  
日本泌尿器腫瘍学会  
日本整形内科学研究会  
日本結合組織学会  
米国泌尿器科学会 (AUA)  
EAU  
熊谷総合病院 泌尿器科医長

4月から熊谷総合病院にて勤務している泌尿器科の川島清隆と申します。私は国立がんセンター東病院、国立がん研究センター中央病院、栃木県立がんセンターで20年間、泌尿器科がんの診療にあたってきました。特に前立腺がんの手術が専門です。手術は現在ロボット手術が普及していますが、根治性に関しては開腹手術を凌駕するものでは無いことは世界的に明らかになっています。また、手術手段よりも術者の経験と熟練度が重要であることが海外のいくつかのガイドラインにも明記されています。きちんとした前立腺がんの手術は難しく、まだまだ未完成といえます。私は、特に進行した前立腺がんの方に対し、より根治性が高く、真に負担の少ない手術を目指し、解剖の解明と、術式の改良に努めてきました。1200例以上の開腹(ミニマム創: 小さな切開創から行う手術)による前立腺全摘術を通して、手術はより精密なものになり、治療成績も良くなりました。開腹手術でも出血はとてもなく、輸血は必要ありません。尿失禁も良好です。治療成績の向上は、特に進行した症例で著明です。この経験を活かし、熊谷総合病院でも、高品位な手術(開腹手術)を提供したいと思っています。

熊谷総合病院にはCT、MRI、骨シンチと、前立腺がんの診断に必要な機器が揃っています。更にPETもあります。また、トモセラピーという最新の放射線治療装置があります。これらを駆使して、質の高い総合的な前立腺がん診療を皆様に提供したいと思っています。前立腺がんは治療選択肢が豊富で患者さんはその選択には悩むことが多いかと思えます。正確な診断を行い、あらゆる可能性を検討した上で、全ての選択肢について丁寧に十分説明し、ご自身の希望にあった治療法を選んでいただけるよう、努力致します。

前立腺がん以外の泌尿器科の病気に対しては、これまで同様、経験豊富な非常勤の先生方と協力して、極力対応したいと考えています。